

社協災害VCでの情報共有 ツール活用事例

- 4月9日 島根県太田市の地震
- 6月18日 大阪府北部の地震
- 7月6日 H30年7月豪雨(岡山)
- 9月4日 台風21号(大阪)
- 9月6日 北海道胆振の地震

- 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
 - 研究員
 - 水井 良暢

9月までの主要な災害位置



各災害でGIS活用



島根県太田市(地震)



大阪府
(地震、台風)



岡山県倉敷市真備(豪雨)



北海道胆振東部(地震)

行政対応

実動組織対応

平成30年6月18日 大阪府北部の地震



平常時からのツール利用と体制の検討

平成27年度から、大阪府社協と市町村社協が連携し、共有ツールを活用した住民・被災者向けの生活ケア・災害時対応の試みを実施している

大阪府内の社協を対象とした情報ポータルサイト

目的: 平常時・災害時にお互いの活動内容を共有する場

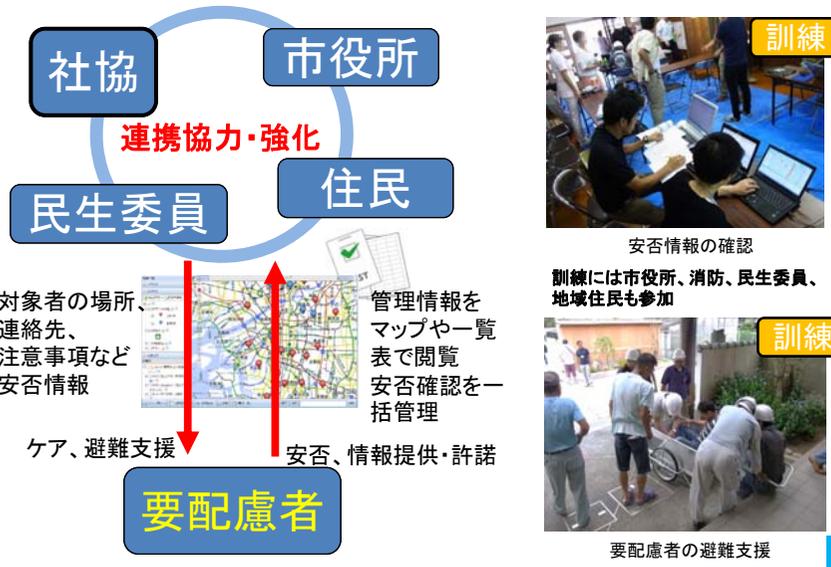


- 活用案たとえばは...
- 【平常時】**
 - 各社協の活動内容を共有
 - 意見交換の場
 - 共通書類の発信と入手
 - 災害への備え情報
 - サロン活動のノウハウ共有
 - イベント等の開催案内発信
 - 【災害時】**
 - 災害VC用の帳票類を共有
 - 支援と受援の連絡
 - マップ機能で情報共有



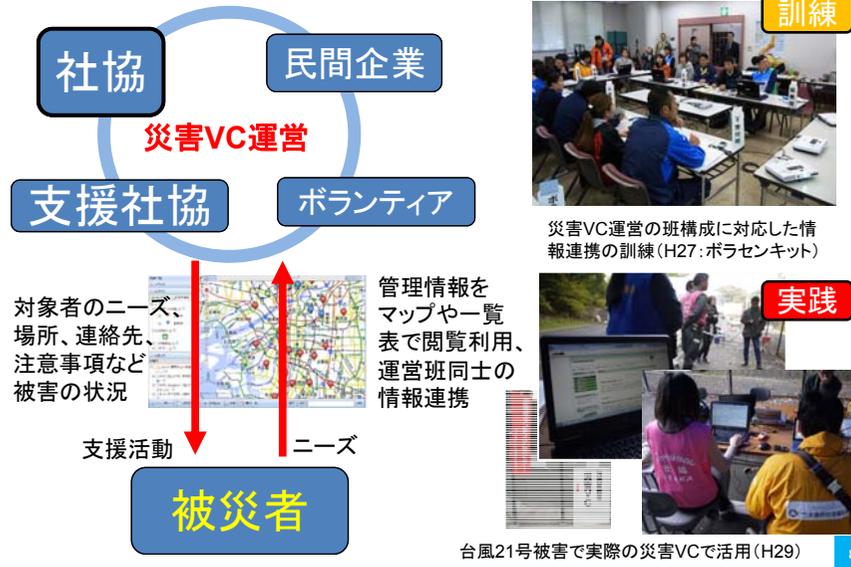
1. 平常時見守り(阪南市)

目的: 見守り対象者や地域資源の把握と支援活動の迅速化



2. 災害VC設置訓練(河内長野市)

目的: 災害VCに関する情報の管理と共有による効率化



3. 地域福祉・防災活動(松原市)

▶ 目的: 地域福祉・防災に関わる活動者が所持する情報の共有



自分の地域の特性を調べて、地域全体でどのように対処し活動していくべきか



社協、民生委員、婦人会、地区住民、消防団、市役所などが参加 (H29)

マップで状況を俯瞰的に把握

7市災害ボラセンでの被災者対応において、

- ・府社協が**推定震度分布データの紙地図を配布**
→ 対応の**優先順位判**
- ・**市境界を意識しつつ全体調整**
→ 個々の**活動を把握し相互調整**

7市: 高槻、茨木、枚方、吹田、箕面、豊中、摂津

大阪府北部の地震 大阪府茨木市の被害状況



新幹線の窓から撮影

地震動による影響範囲を俯瞰的に把握する



オレンジ色の範囲が推定震度6弱相当
×の地点が震央
点線する赤色ラインは主要活断層

【地震】被災者生活支援活動での情報利活用

①平時から情報が存在することを啓発し認識しておく



①発災後から即利用(1府7市)



被害・影響把握、計画・判断

第2段階 データベース作成

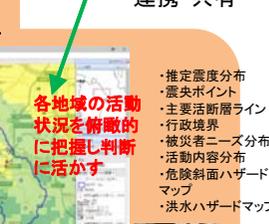


③活動が進むにつれてデータベース構築

②発災後から即実施



外部支援者の連携・共有



各地域の活動状況を俯瞰的に把握し判断に活かす

活動状況把握・計画、関連組織間共有 (災害ボラセン、行政、NPO)

各災害ボラセンに推定震度分布情報を配布

被震範囲を推測

推定震度分布データから活動エリアを推測

他支援団体の活動データと連携

行政などの打ち合わせ資料にも利用

オレンジ色の範囲が推定震度6弱相当
×の地点が震央
点にする赤色ラインは主要活断層

府内の社協相互が情報支援

府社協職員と今回被災していない市町村社協の職員が各市災害ボラセンに支援に入った

→ 現地職員は現地の対応で手一杯なので、支援者が情報系の作業を手伝った

平常時から連携を試みているので情報を取り扱う作業への抵抗は小さかった？

【地震】被災者生活支援活動での情報利活用

①平時から情報が存在することを啓発し認識しておく



①発災後から即利用(1府7市)



被害・影響把握、計画・判断

第2段階 データベース作成

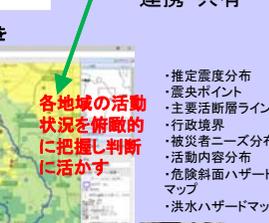


③活動が進むにつれてデータベース構築

②発災後から即実施



外部支援者の連携・共有



各地域の活動状況を俯瞰的に把握し判断に活かす

活動状況把握・計画、関連組織間共有 (災害ボラセン、行政、NPO)

運営支援者ページの活用

支援者側の調整

大阪府社協

日報管理

茨木市

各日の活動状況を共有

高槻市

吹田市

枚方市

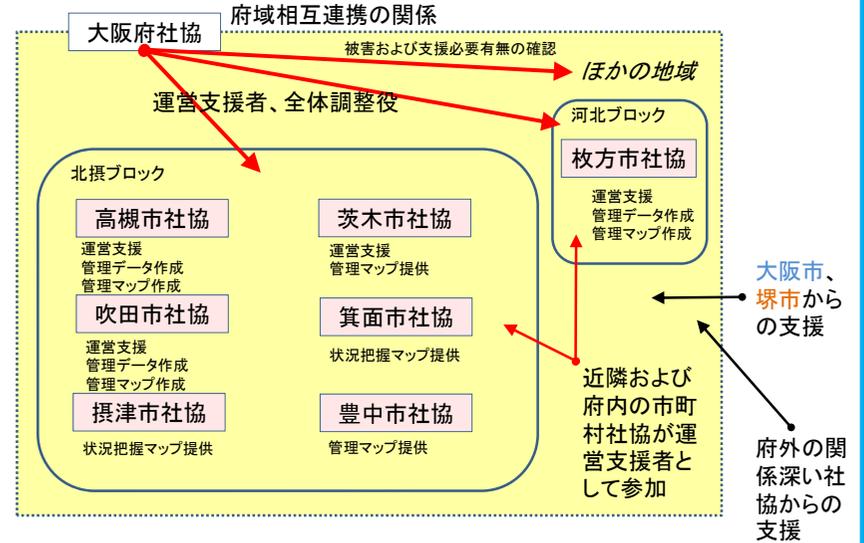
運営支援者間での状況を共有する試みを実施した。(府社協+府内支援者)

スケジュール調整

共通書類の共有

各地発信情報の把握

災害ボランティアセンター開設地域での支援関係



大阪府の社協 入力項目の統一(大阪府社協版)

被災者ニーズ受付一覧(eコマ反映用)

記入者	活動中	大阪	京都	奈良	和歌山	徳島	香川	岡山	広島	山口	福岡	佐賀	長門	熊本	鹿児島	沖縄	他府県	未定	合計

※網掛け(赤色)は、優先して入力してください。
 ※住所の入力は空白を空けないでください。スペースが入るとマップへの落とし込み時にエラーになります。
 ※1セル1行(改行をしないこと)
 ※入力項目の順番を変更しないこと
 ※数字は半角で入力

- ・赤色の項目は必須
- ・緑色は後から入力でも良い
- ・不足していると思われる項目があればオプションで独自に追加しても良い

→ 大阪府北部の地震では北部の7市に
 →→ 台風21号災害ではさらに改良されたものが南部沿岸部の社協に

この入力フォーマットが配布された

活動の振り返り 11/19に実施



活動検証

今後の広域災害に向けた課題抽出

→ 府内の支援チームに情報系の研修を取り入れる?

大阪府社協にて11月19日に活動振り返りの検証会を実施済み。23市町村が参加

実動組織対応



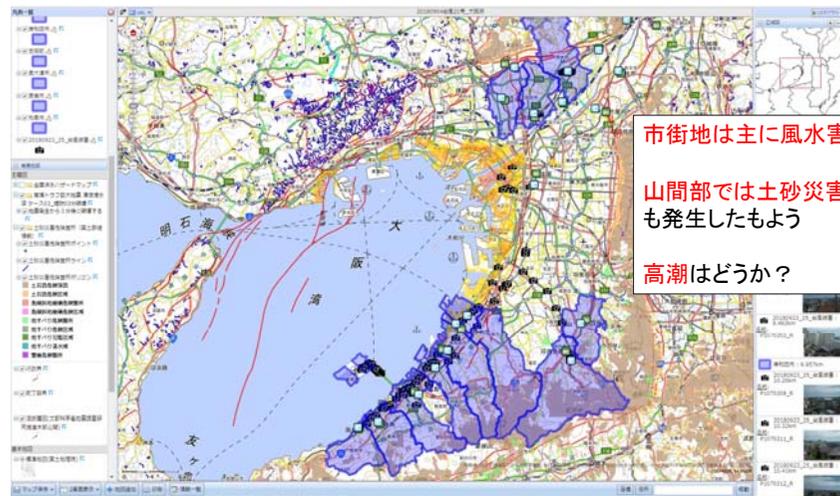
平成30年9月4日 台風21号(大阪)



関西国際空港の橋(9/24)



【風水害】地図対応した市町と土砂災害危険箇所 (H30台風21号)



吹田市、豊中市、河内長野市、富田林市、泉大津市、岸和田市、泉佐野市、阪南市、などなど10市町以上 (茨木市は北部地震から継続していた) ※主に紙地図

高潮の参考情報として南海トラフの津波浸水エリア情報も表示

行政対応

実動組織対応

被災現地調査



平成30年7月6日 H30年7月豪雨(岡山)



倉敷市災害ボラセンに情報提供

実動組織対応



倉敷市災害ボラセン入り口



被災前・被災後の航空写真B0版



倉敷市災害ボラセン7/27の状況

倉敷市真備町の地区境界線と仮設団地



- ・水色アイコンは仮設団地
- ・青色の枠線は地元で使われている地区エリア
- ・平坦地の青色濃淡は浸水範囲(国土地理院)
- ・斜面の茶色等は土砂災害危険個所の情報

eコミマップ環境 + 大判印刷

防災科研クラレの被害情報提供について

被害状況に関する情報をはじめ、特に災害ボランティアセンターの立ち上げ場所と募集状況に関する情報(全社協の提供情報)を集約・一部公開

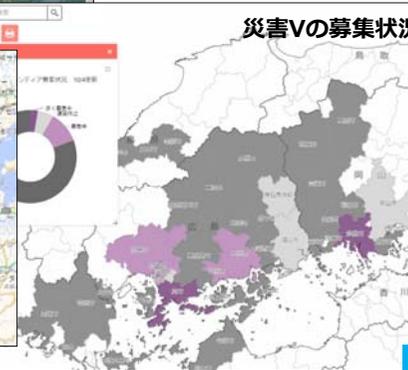


提供情報

- ・実行雨量、台風経路
- ・浸水被害、土砂災害
- ・避難所、交通規制
- ・給水、入浴、災害VC



災害VCの分布



災害Vの募集状況

おしまい